



2026 年 2 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社ナカノフドー建設  
代表者名 代表取締役社長 飯塚 隆  
(コード番号 1827 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員経理部長 前澤 孝  
(TEL 03-3265-4664)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月14日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

|                         | 売 上 高   | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A)              | 130,000 | 3,500 | 3,800 | 2,600                   | 75 円 66 銭      |
| 今回修正予想 (B)              | 138,000 | 3,900 | 4,400 | 3,450                   | 100 円 40 銭     |
| 増減額 (B－A)               | 8,000   | 400   | 600   | 850                     |                |
| 増減率 (%)                 | 6.2     | 11.4  | 15.8  | 32.7                    |                |
| (ご参考)前期実績<br>(2025年3月期) | 110,538 | 3,280 | 3,724 | 2,904                   | 84 円 51 銭      |

#### (2) 修正の理由

売上高につきましては、国内工事においては、一部の工事で設計変更等による着工の遅れや地中障害に伴う工事進捗への影響等が発生した為、減収となる見込みですが、海外工事においては、シンガポールやマレーシアにおける大型工事が想定より順調に推移していることから増収が見込まれ、連結売上高は前回予想を上回る見込みであります。

利益面につきましては、国内工事においては、協力会社との協働による資材価格高騰への対処や、技術的な創意工夫による施工効率の向上等により工事採算が改善したことに加え、海外においては、大型現場で仮設・躯体等の工法合理化等による原価低減が図られ、増益が見込まれることから、人件費の増加等により一般管理費が増加しておりますが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見込みであります。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 修正内容

|                       | 年間配当金 |       |       |           |           |
|-----------------------|-------|-------|-------|-----------|-----------|
|                       | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 期 末       | 合 計       |
| 前 回 予 想               | —     | —     | —     | 22 円 00 銭 | 22 円 00 銭 |
| 今 回 修 正 予 想           | —     | —     | —     | 30 円 00 銭 | 30 円 00 銭 |
| 当 期 実 績               | —     | —     | —     |           |           |
| 前 期 実 績<br>(2025年3月期) | —     | —     | —     | 22 円 00 銭 | 22 円 00 銭 |

### (2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元と企業体質の強化を基本課題とし、業績と将来の見通しを総合的に勘案して配当する方針をとっております。また、現中期経営計画（「中計86」対象期間：2026年3月期～2028年3月期）における株主還元として、DOE1.5%を下限とし、配当性向30%を目安に財務健全性の維持向上と、成長に向けた投資の両面を考慮して、株主還元を実施する方針としております。

この方針に基づき、本日公表の業績予想の修正を踏まえ、2026年3月期の期末配当金につきまして、直近の配当予想より8円増額し、1株当たり30円に修正いたします。なお、本件は2026年6月開催予定の第84回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定であります。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上